

## ② フラッシングの効果

「ブラッシング」とは 歯磨き のことです

# 水がしみるのが治る

ブランクがついていると過敏になる



① 左：下顎前歯は全体的に風がしみ、水道の水が飲めなかった。右：舌側には歯石がたくさんついている。よく磨くことを指導した。60歳 女性

(前面) ↓

歯石は自分で拭き取らせん  
フロウペーストをおかせて下さい。

↓ (ウラ側)



② 左：この写真は9カ月後でよい状態が続いている。①より1ヵ月後の来院時には、ブラッシングの効果が現れ、水がしみるのが治っていた。右：同舌側、きれいに磨けている

### ブラッシングでしみるのが治る

歯石を取り除いた直後は、  
一時的にしみる感じが強まります。

ブラークの付着によって起きた歯肉の炎症や直接根面についたブラークの影響で、冷たいものに歯髄が敏感に反応するときがあります。

ブラッシングでブラークが取り除かれると次第に治ります。

しみなくするための処置も併用  
していきます。

# シエフ プラークは歯肉に炎症を起こす

## シエフエッセンス 初期の歯肉炎



① きれいにみえるが実際は腫れている  
35歳 女性 3211123



② ちょっと触るとドッと出血する(図)。当然歯を磨くときも出血する。歯肉炎は腫れと出血でわかる



③ 1週間後、出血を恐れずに磨き始めたので、出血が少なくなった



④ 2週間後、まったく出血しなくなつた

### ブラッシングの威力

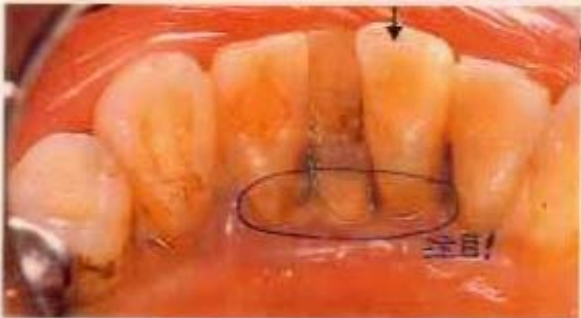
プラークの取れる磨き方に改めると1週間で出血は減り、2週間でまったく血が出なくなりました。磨き方を変えただけでよくなったのです。

歯石を取り除き、歯磨きの徹底で

# ぐらぐら揺れるのが止まる



(前面)



(ウラ側)

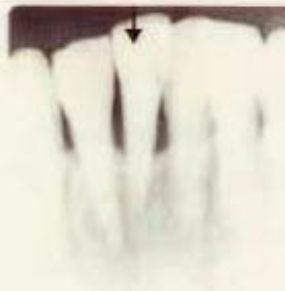


初診時、(↑)は歯頸部がひどく汚れている。この歯だけが抜け出してぐらぐら揺れていた。61歳 男性

2年後、よく磨けるようになり、いまではびくともしないほど堅固である



初診時、歯石がついており、歯根膜線が広がっている



2年後、歯石はきれいに取れており、歯根膜線が正常に戻っている

## ぐらぐらが治る

プラークの付着によって歯肉に炎症が起き、そのために歯がぐらぐらになることはしばしばみられる現象です。よく磨いて炎症が治まると、次第に歯はしっかりしてきます。

ぐらぐらしている歯を両隣の歯とつなげることで、固定する方法があります。